

**令和元年度 野田市関宿心身障がい者福祉作業所  
指定管理者管理運営状況調書**

担当課 障がい者支援課

評価基準	評価項目	指定管理者 自己評価	担当課評価	特記事項
利用者の平等利用が確保されること	①利用者の平等利用確保	B	B	
施設の効用（設置目的）が最大限発揮されるものであること	①サービスの改善及び向上のための方策	B	B	
個人情報の適切な保護が図られていること	①個人情報保護のための方策	B	B	
緊急時の危機管理体制が確立されていること	①施設の安全管理についての方策	B	B	
	②緊急時の危機管理のための対策	B	B	
	②要望、苦情への対応	B	B	
有効な生活介護の提供が図られていること	①生活介護のための方策	B	B	
有効な就労支援の提供が図られていること	①就労支援のための方策	B	B	
衛生管理が適切であること	①衛生管理のための方策	B	B	
現金の取扱い等の経理処理が適切に行われていること	①現金の取扱い等の経理処理が適切に行われるための方策	B	B	
管理経費の縮減が図られるものであること	①指定管理に係る収支見込みについて	B	B	
	②管理経費縮減のための方策	B	B	
雇用等への配慮が図られていること	①地元住民の雇用、物品及び役務の地元業者への配慮の方策	B	B	
事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	①人員配置について	B	B	
	②職員の指揮監督・管理体制について	B	B	
	③人材育成の取組	B	B	

#### 総合所見

当該施設は、平成 19 年度より社会福祉法人は一とふるが指定管理業務を運営している。

平成 29 年 4 月 1 日から指定障害サービス事業所に移行し、生活介護と就労継続支援 B 型の事業所として新たに運営がなされて 3 年目となる。また、現指定期間（平成 29 年度から令和 3 年度まで）の 3 年目となる。

令和元年 12 月末現在、生活介護 9 名、就労継続支援 B 型 8 名が利用し、施設の運営管理についてはおおむね計画に基づいた運営がされている。特に就労継続支援 B 型では取引先を増やし、今後は清掃業務の請負ができるように職員が研修に行くなど、賃金の向上に努めている。

収支状況については、人件費において予算額と決算見込額に差があるが、日々の業務の効率化や会議の進行方法を工夫したことにより主に時間外勤務手当が削減できたことによるものである。

建物の安全確認について、「建物日常点検チェックリスト」の提出を求め、台風や大雨時には施設への被害を確認している。12 月の現地確認の結果、トイレの水漏れとブラインド（市備品）の故障を確認し、交換工事を予定している。

なお、社会福祉法人は一とふるの経営状況について、平成 30 年度の法人単位資金収支計算書を確認すると収入より支出が多くなっているが、こちらは施設修繕等の長期的計画のために資金を引き当てているためであり、手持ち資金は増加している。また、事業全体の事業収支は黒字であることから経営は安定している。